

滋賀県立大学 人間文化セミナー

演題 特定保健用食品の科学性

講師 至学館大学健康科学部教授
村上 太郎 先生

日時：2016年1月28日(木)16:30～18:00

場所：滋賀県立大学 A3-301講義室

対象：学生・教職員および一般の方(参加無料、予約不要)

講師略歴

昭和42年生まれ。平成2年 筑波大学体育専門学群卒業。平成5年 筑波大学大学院博士課程体育科学研究科中退、名古屋工業大学工学部助手に採用。平成11年 博士(医学)を名古屋大学医学部にて取得。平成11年9月から13年3月の間、インディアナ大学医学部生化学分子生物学講座へ留学。平成11年 名古屋工業大学工学部助教授。平成11年より中京女子大学(現至学館大学)健康科学部教授。専門分野は運動と代謝調節。

概要: 特定保健用食品(トクホ)は、科学的根拠によって保健用途の表示が許可された食品であるが、日常の食生活において保健用途が発揮されない場合のあることが報告されている。また、トクホの利用者の多くは保健用途を実感していない。理由の一つに、企業のもつトクホの科学情報が消費者に正確に認識されておらず、保健用途が発揮されにくい方法で利用されている可能性が考えられる。ここでは、女子大学生を対象にして実施したトクホの利用実態や、広告等から保健用途発揮のための条件をどのように認識するのかについて調査した結果を紹介しながら、トクホの科学性について考えてみたい。



ANNIVERSARY

一般の方もご自由に参加ください。

主催 滋賀県立大学 人間文化学部
〒522-8533 彦根市八坂町2500番地
Tel 0749-28-8401 Fax 0749-28-8479